

## 国語科学習指導案

- 1 日時 令和2年11月17日(火) 第5校時
- 2 学年 第1学年1組 男子13名 女子7名 計19名
- 3 単元名 はなしをたのしくつなごう  
「なにに 見えるかな」

### 4 単元設定の理由

#### ・単元観

国語科の目標や評価の観点は次のように示されている。

### 小学校指導要領 第2章 第1節 国語 各学年の目標及び内容

#### 【第1学年及び2学年】1目標

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関りの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができる。	言葉のもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

#### 評価の観点〈小学校 国語〉第1学年及び第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使っていると同時に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。(1)オ	話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。エ 互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。オ	これまでの学習や経験で気付いたことやできるようになったことを生かして、見通しをもち、互いの話に関心をもって話をつなごうとし、グループで話し合おうとしている。

本単元は、学習指導要領「A 話す・聞く」(1)オ「互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐこと」に関連し、尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話合う活動を通して、互いの意見や考えなどを関わらせながら、考えをまとめたり広げたりする力の基本を身に付け、話し合い活動の素地を育てることをねらいとしている。

本学年で学習する「話す・聞く」の単元と単元の目標は以下の通りである。

単元	言語活動	単元の目標
「よろしくね」	自己紹介	他者に関心をもち、名前などを伝え合って、互いのことを知ることができる。
「こえをとどけよう」	呼名・返事	相手との距離によって、必要な声の大きさが違うことに気付くことができる。
「きいてつたえよう」	伝言ゲーム	大事なことを落とさないように集中して聞き、グループの人に正しく伝えることができる。
「みんなにはなそう」	みつけたものクイズ	問いと答えの応答によって、みんなに聞こえる声で発表することができる。
「はなしたいなききたいな」	夏休みの思い出発表会	経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んで話したり、話を集中して聞いて内容を捉えて感想をもったりすることができる。
「なにに見えるかな」	グループでの話し合い	<b>【本単元】</b> 互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて楽しく話をつなぐことができる。
「すきなきょうかはなあに」	お話しメモ作り	相手に伝わるように、話す事柄の順序を考え、声の大きさや速さなどを工夫して話すことができる。
「小学校のことをしょうかいしよう」	仲よし交流会	経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えて話すことができる。

(令和2年度 国語科 年間指導計画より)

このような段階を経て、本単元においては、各自の作品を見ながら「なにに見えるか」について、「話したい」「聞きたい」という思いをもってグループの友達と共感的に交流し、話をつなぐ楽しさを味合わせ、他教科でも活用する力を育てることをねらいとしている。

### ・児童観

本学級の児童は、全体的に落ち着いて話を聞くことができる。前単元の「はなしたいなききたいな」の学習では、夏休みの絵を見せながら自分の経験を話したり、聞いたりする活動を楽しんで行った。しかしながら、ペアトークやグループトークの経験はなく、「1対多」の対話型のやりとりを基本としてきたため、話し手に対して、ひとりひとりが自分の意見を即時に伝える経験は乏しかった。自分が伝えなくても、積極的に発言する児童により話が進行する状況も見られた。そこで、9月からフェイスシールド等を準備して朝の会や授業の中でペアトークの機会を設けると、興味をもって取り組もうとする姿が見られるようになってきた。

10月に行った国語アンケートによると「話を聞くのが好き」と答えた児童は78%であった。ほとんどの児童は話を聞くことは好きだが、「話をするのが好き」と答えた児童は68%であり、3割近くの児童が「どちらともいえない」「きらい」と答えている。話すことが苦手な理由は、「言うことがわからない」、「言うことがない」、「むずかしい」、「はずかしい」などであった。普段の会話や文章作りの場面で語彙数が少ない児童に、苦手意識が高い傾

向が見られた。一方、「ペアトークが好きですか」という問いには84%が好きと答えている。好きな理由は「友達と一緒に考えられるから。」「フェイスシールドは大変だけど一緒にだと楽しい。」等、会話のやりとりの楽しさを感じている。さらに「グループトークは好きですか」という問いには84%は好きだと答えている。好きな理由は、「人数が多くて楽しい。」「みんなで決められるから。」「自分の考えを言ったら、みんながそうなんだと言ってくれるから」「みんなで話すと盛り上がるから。」と答えている。まだ、話合いの経験は少ないながら、多くの児童が楽しいものだというとらえをしている。

(表1 児童アンケート結果 10月)

児童アンケート	肯定的な回答の割合 (%)
話を聞くのが好きですか。	78
話をするのが好きですか。	68
ペアトークが好きですか	84
グループトークは好きですか	84

## ・指導観

「課題との出会い」の場面では、教科書の写真を見て、どれが何に見えるか思いついたことを教師や友達に話す。その際に話し手と聞き手が話を楽しくつなぐことを学習することを知らせる。

「課題解決」の場面では、まず、教科書の写真が何に見えるかについて教師とやり取りをすることを通して、話を楽しくつなげるためには、相手の話を受けて頷く、聞いた言葉を繰り返す、相手の話を受け止める、わからないことは質問する等の聞き手の反応や応答が大切であることに気付かせる。

「表現」の場面では、「受け止める」「質問する」等教科書の話型を基に、秋の造形物の写真を見ながらペアトークで話し合う。また、友達のやり取りを見て気付いたことを出し合い、次のグループトークに生かそうという意欲につなげる。本時では、2年生の作った作品が「なにに見えるか」を3～4人のグループで話し合い、「考えを話す人」「聞く人」に分かれて行う。ワークシートを用意し、うけとめる言葉やつなぐこつを使えたら各自でシールを貼り、話合いの様子が可視化できるような手立てをする。話合いの時間を設定し、終わるごとに気付きや困ったことなどを交流する。また、例示の話型以外で使える言葉や聞くときのしぐさ等のつなぐこつを出し合い、動画撮影をして良いところを見つけて真似をしてみようという意欲をもたせる。

「まとめ・振り返り」の場面では、学習したことを活かして「つながるトークタイム」を開く。図工の「くしゃくしゃしたら だいへんしん」の作品を話題のテーマにして、話合いをする。話がつながると、雰囲気も盛り上がり、自分の気付かなかった良さを見つけたり、アドバイスを受けて考えが広がったりするような楽しさに気付かせる。また、学習のまとめを掲示し、コミュニケーションツールとして生活の中で共有し、定着させていく。

育成すべき  
資質・能力の  
三つの柱と  
の主な関連

主体的に  
学習に取り  
組む態  
度

知識・  
技能

思考・  
判断・  
表現

主体的に  
学習に取り  
組む態  
度

## 5 単元の評価基準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使っていると同時に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。 (1) オ	「話すこと」「聞くこと」において互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。A(1)オ	・これまでの学習や経験で気付いたことやできるようになったことを生かして、見通しを持ち、互いの話に関心をもって話をつなごうとし、グループで話し合おうとしている。

## 6 指導と評価の計画（全6時間）

次	学習内容	評価規準	評価方法
一	○教科書の「なににみえるかな」の写真を見て、想像をして思いついたことを話す。 ○自分の考えを伝え、相手の考えを聞いてみたいという気持ちをもたせ、教師や友達とやり取りをしたり、見たりする。	○テーマに関心を持ち、進んでやりとりをしようとしている。(主) ○形の特徴をとらえ、何に見えるかを言葉で表すことができる。(知・技)	発言・行動観察
	○ペアトークをして、「つなぐこつ」を考える。	○話をつなげるには、どうすればよいか考えようとすることができる。(知・技)	発言・行動観察
二	○2年生の作った図工の「集めて並べていいかんじ」の作品を見て「なににみえるか」をグループで話し合うために、自分の考えをまとめたり、質問の答えを考えたりする。	○形や様子を表すのにふさわしい言葉を使うことができる。(思・判・表)	発言・行動観察・記録・動画
	○前時で準備した考えや質問したいことをもとに、3～4人でグループトークをする。(本時4/6時間)	○相手の話を受けてつなげることの良さに気付き、相手の発言を受けて話をつないでいる。(思・判・表)	発言・行動観察・記録・動画
三	○図工の「くしゃくしゃしたら 大へんしん」で作った作品を話題のテーマにして、グループトークをする計画を立てる。	○「つなぐこつ」は他の話合いの場面でも生かされることに気付き、グループトークの計画を意欲的に立てようとしている。(主)	発言・行動・成果物
	○前時の計画に沿ってグループトークを行い、単元の学習のまとめをする。	○話合いのコツが他の場面でも生かされることに気付き、話合い活動に意欲をもっている。(主)	

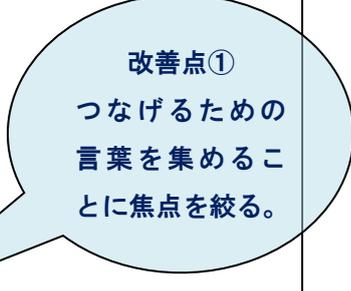
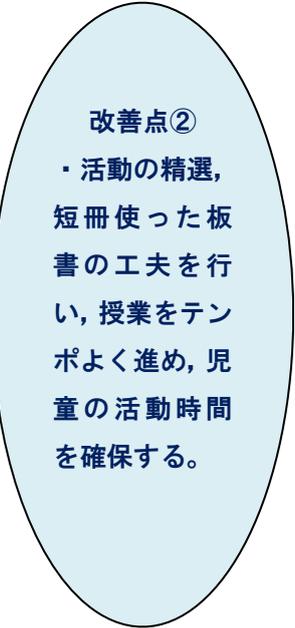
## 7 本時の展開

- ・本時の目標 「つなぐこつ」を使って、グループで楽しく話をつなぐことができる。

学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）
1. 課題意識をもつ。  2. 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習で見つけた「つなぐこつ」を想起させ、本時のめあてをもたせるようにする。</li> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">うけとめる</span>・繰り返す               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なるほど。」</li> <li>・「いいね。」</li> </ul> </li> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">質問する</span>・「これは～なの？」</li> <li>・「なにをしているの？」</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p>「つなぐこつ」をつかって、たのしくつなげてはなしあおう。</p> </div>		
3. グループトークのやり方を確認する。  4. 2年生の「集めて並べていいかんじ」の作品を見て、「なにに見えるか」話合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えを言う人（1人）</li> <li>・聞く人（2人）</li> <li>・（2分トーク）×3回行う。</li> <li>・「つなぐこつ」を使って話ができたらワークシートにシールを貼る。</li> </ul> 5. 気付いたことや困ったこと等を交流する。  6. 本時のまとめを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「何に見えるか考えを言う人」「聞く人」に分かれ、交代しながら学習を進めさせる。</li> <li>・<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">うけとめる</span>・<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">質問する</span>の観点でやり取りができるように、色分けをして提示しておく。</li> <li>・発言することが苦手な児童には、「つなぐこつ」を示したものを手元に置かせる。</li> <li>・発言できたらシールを貼ることで、つなげて発言する意欲を高める。</li> </ul> <p>○1 回ごとに話合いを振り返らせ、良さを確認したり、課題を見つけさせたりする。</p> <p>（1 回目「2分間つながったかな。」            2 回目「新しい言葉は使えたかな？」            3 回目「どんな質問ができたかな？」</p> <p>○「つなぐこつ」を使って、受け止めたりいろいろな質問をしたりすることで話合いがつながることを確認する。</p>	<p>○相手の話を受けて、つなげて話すことができている。（発言・ワークシート・動画）</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p>「つなぐこつ」をつかうと つなげてはなしあうことができた。</p> </div>		
6. 次時のめあてをもつ。	<p>○他の教科や場面でもグループでつないで話合いができないか考えさせる。</p>	

**※改善指導案**

・本時の目標 「つなぐこつ」を使って、グループで楽しく話をつなぐことができる。

学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）
1. 課題意識をもつ。  2. 本時のめあてを確認する。	・前時の学習で見つけた「つなぐこつ」を想起させ、本時のめあてをもたせるようにする。 うけとめる 繰り返す・「なるほど」 「いいね」 質問する・「これは～なの？」 ・「なにをしているの？」	 <p><b>改善点①</b> つなげるための言葉を集めることに焦点を絞る。</p>
<p>楽しくつなげて話すために「つなぐこつ」をもっと見つけよう。</p>		
3. グループトークのやり方を確認する。  4. 2年生の「集めて並べていいかんじ」の作品を見て、「なにに見えるか」話合う。 ・考えを言う人（1人） ・聞く人（2人） ・（2分トーク）×3回  5. 気付いたことや困ったこと等を交流する。 ①発言したらシールを貼る。 ②新しい言葉を見つける ③新しいコツを使う。  6. 本時のまとめを行う。	・「何に見えるか考えを言う人」「聞く人」に分かれ、交代しながら学習を進めさせる。 ・発言することが苦手な児童には、「つなぐこつ」を示したものを手元に置かせる。 ○1 回ごとに話し合いを振り返らせ、良さを確認したり、課題を見つけさせたりする。 1回目「2分間つながったかな。」 ・色シールを貼ることで、つながりを可視化させ、意欲を高める。 2回目「どんな言葉を使ったかな？」 ・短冊に書いて掲示して、共有する。 3回目「他の意見も聞いてみよう」 ・「あなたは どう思う？」と、聞き手同士の意見を尋ねることで、話し合いがつながることに気付かせる。 ○めあてに沿って、学習の足跡が分かるような構造的な板書にする。 ○みつけたコツを使うと、話がどんどんつながって楽しく話し合うことができることを、板書を使って確認する。	○相手の話を受けて、つなげて話すことができている。（発言・ワークシート・動画）   <p><b>改善点②</b> ・活動の精選、短冊を使った板書の工夫を行い、授業をテンポよく進め、児童の活動時間を確保する。</p>
<p>新しい「つなぐこつ」がたくさん見つかった。</p>		
6. 次時のめあてをもつ。	○他の教科や場面でもグループでつないで話し合いができないか考えさせる。	

**改善点②**  
めあてに沿ったまとめにする。